

事業計画書

事業名	コミュニティーの拠点づくり事業
実施箇所	佐久市中込1丁目21番地1菊池ビル1階
実施期間	事業開始予定年月日 28年 4月 1日
	事業終了予定年月日 29年 3月31日
事業概要	<p><事業の目的></p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街が、まちづくりなど各種事業を計画するうえで地域住民のニーズを把握することがますます重要になってきているため、商店街と地域コミュニティーとの結びつきを強化する。 ・商店街が地域社会の中心として人や情報の交流の場となるべきであるが、住民の参画が不可欠で、地域住民と商店街協働で、安全安心・活力あるまちづくりを推進する必要がある。 ・カム21にあった学習センターがなくなったため、主に列車通学の高校生に安全で快適な勉強の場を提供することにより、商店街離れが進んでいる若者に、まちに親しんでもらう。
	<p><事業の内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中込駅前の空き店舗を賃借し、「ほんわ館」として地域の人たちがいつでも気軽に使えるコミュニティーの拠点とする。 ・具体的には以下のイベント等に使用しながら知名度を高める。 ①商店会の各種イベント…七夕まつり、年末抽選会などに使用。 ②まちゼミの開催…個店では狭いなどの理由でほんわ館を使用、野沢南高のふれあい同好会によるスマホ教室、佐久平総合技術高校創造実践科科によるステンドグラスや軽井沢彫り教室、フラワーアレンジ教室など…年間約10回の予定。 ③咲織り（裂き織り）教室・手織り教室…年間約90回の予定。 ④シルバー人材センター刃物研ぎ…年間4回の予定。 ⑤その他、ギャラリー、会議などに使用。 ・ほんわ館を中込商店街だより、Webページ、Facebookページで告知することで便利なスペースとしてアピールする。地域の人たちにも、手づくり教室等のカルチャースクール会場などに活用を勧める。 ・平日夜間は自習室として開放する。 ・チャレンジショップとしての活用も積極的に呼びかけ、利用者がいた場合は商店会だよりによる告知宣伝等で応援するなど、やがては商店街の空き店舗に出店できるよう協力する。

<事業の効果・アピールポイント>

- ・高校生に、明るく、冷暖房が完備したスペースを用意することで、安全・安心のまちづくりを進める。
- ・地域の人たちに気軽に使えるコミュニティースペースを提供することで、商店街が地域社会の中心としての役割を果たせる。
- ・来街客を増やすことで街の活性化につながり、人や情報が活発に行き交い、来街頻度の増加が図られることで商店街の活性化につながる。商店街の衰退を防止し、買物弱者の増加を止められる。
- ・地域貢献に積極的な商店街をアピールし、地域全体で活動することによりまちづくりを継続的に推進する体制を構築できる。
- ・数値目標として、ほんわ館使用回数が前年比10%以上増加を目指す。

<事業における市の役割分担>

機会があれば、便利に使える地域拠点があり、カルチャースクール等、市民活動のスペースとして活用できることを広報し、勧めていただきたい。